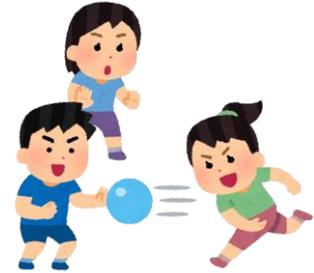


令和3年度 学校だより 学校評価特別号	名古屋市立矢田小学校 〒461-0048 名古屋市東区矢田南4-4-1 TEL 052-721-2508 (電話・来校者対応時間 平日7:45~18:00) http://www.yada-e.nagoya-c.ed.jp/
 学校と家庭、地域をつなぐ 矢田だより	
発行日 令和4年3月1日(火)	

学校評価の結果と改善点をお知らせします

本校の教育活動を振り返り、成果や問題点を明らかにし、改善を図ることを目的として、学校評価を実施しました。保護者のみなさまにはアンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。ここに、結果をお伝えするとともに、今後改善すべき点を明らかにして、よりよい教育活動を進めていきます。



評価結果の見方について

教職員の自己評価、保護者アンケート、児童アンケートを比較・検討しました。

- ① A(よくあてはまる)を4点、B(だいたいあてはまる)を3点、C(あまりあてはまらない)を2点、D(まったくあてはまらない)を1点として計算・平均化しました。
- ② 平均点が3.2点(80%)を超えればおおむね満足とし、◎の判定を、3点未満のものについては、対策が必要であると考え、△の判定をしました。
- ③ 令和元年度と2年度で共通している評価指標の平均点と判定については、比較できるように、()内に令和元年度の結果を示しました。
- ③ 簡単な分析や今後の課題とすべきことを、➡以降にゴシック体で記述しました。今後の改善に生かしていきたいと考えています。

アンケート1 年度目標「個別最適化された学びを提供する授業改善の推進 モデル実践校」としての取り組み

評価指標		平均点	判定
教職員	子どもが、人と協力しながら、よりよい解決方法を見つけられるよう、指導を工夫した。	3.5	◎
保護者	子どもが、人と協力しながら、よりよい解決方法を見つけられるように取り組んでいる。	3.3	◎
児童	わたしは、人と協力しながら、よりよい解決方法を見つけることができた。	3.3	◎

- ➡ 本校では、「個別化・協同化・プロジェクト化の視点」を大切にして、モデル事業に取り組んでいます。その中でも、今年度は「協同化」に重点を置いて、実践を進めてきました。
- ① 具体的には、友達とアイデアを出し合ったり、グループで探究したりする活動を通して、課題をよりよく解決できる体験を積み重ねてきました。その結果、多くの子どもたちが「友達と力を合わせると、難しい課題も解決できる」など「協同のよさ」を実感することができました。



【グループで調理員にインタビューする様子】

	教職員	子どもが、タブレットの活用を通して、考えを深められるよう、指導を工夫した。	3. 3	◎
	保護者	子どもが、タブレットの活用を通して、考えを深められるように取り組んでいる	3. 3	◎
	児童	わたしは、タブレットを活用して、考えを深めることができた。	3. 5	◎
②	<p>▶ タブレットを活用することで、データとして蓄積された過去の自分の考えを振り返り、考えの変容を実感することが容易になりました。また、画面上で、自分と友達の考えを比較して、多面的に物事を考えることができるようになりました。</p> <p>指導する教員以上に、子どもたちがタブレットの利便性に気付き、自ら活用しようという意欲を高めています。その姿に、頼もしさを感じています。</p>		 <p>【タブレットで考えを伝え合う様子】</p>	
アンケート2 年度目標 「子どもライフキャリアサポートモデル事業 モデル校」としての取り組み				
評価指標			平均点	判定
	教職員	子どもが、がんばりを認め合い、自己肯定感を高められるように、指導を工夫した。	3. 5	◎
	保護者	子どもが、がんばりを認め合い、自己肯定感を高められるように取り組んでいる。	3. 3	◎
	児童	わたしは、友達とがんばりを認め合うことで、自分のよいところに気付くことができた。	3. 2	◎
④	<p>▶ 子ども自身が「自分のよさ」を意識することができるように、道徳や特別活動、総合的な学習の時間などの授業で、「自分のよさ」について友達とともに考える場を設定しました。また、日常生活においても、教員が「よさ」を認める声掛けをすることを心掛けました。今後は、各学級での取り組みを教員間で情報交換をしながら、学校全体の取り組みとして広げていくことが課題です。</p> <p>各ご家庭におかれましても、子どもの頑張りやよさについて認め、励ます声掛けをしていただくことで、学校の取り組みとの相乗効果で、より一層、自己肯定感を高めることが期待できます。ご協力、よろしくお願いいたします。</p>			
	教職員	子どもが、自分も友達も笑顔でいられる方法を考えることができるよう、指導を工夫した。	3. 4	◎
	保護者	子どもが、自分も友達も笑顔でいられる方法を考えることができるように取り組んでいる。	3. 2	◎
	児童	わたしは、自分も友達も笑顔でいられる方法を考えることができた。	3. 3	◎
⑤	<p>▶ 教職員、保護者、児童の全ての判定が◎となりました。朝の会や帰りの会、日々の授業の中など、日頃から友達と認め合う場を設定したり、友達が笑顔になる方法を考えたりするなど、継続して指導してきた成果であると考えます。また、取り組みによって、子どもたちが笑顔で帰宅することが、保護者アンケートの結果につながっていると考えています。</p> <p>しかし、今年度は、「あったか言葉」を学校全体で意識する場面が少なく、友達とトラブルになった際には、きつい口調になってしまうことが、様々な場面で見られました。「あったか言葉」を使うことも、友達を笑顔にする手段の一つであることを、子どもたちが理解し、日常的に使うことができるように、継続して、指導していきたいと考えています。</p>			

アンケート3 学習について				
評価指標			平均点	判定
⑥	教職員	子どもにとって「分かりやすい授業」となるように、指導を工夫した。	3. 4 (3.5)	◎ (◎)
	保護者	子どもは、「授業が分かりやすい」と言っている。	3. 2 (3.1)	◎ (○)
	児童	先生の授業は分かりやすい。	3. 7 (3.7)	◎ (◎)
<p>➡ 今年度は、教員の専門性を生かして、橋本主幹教諭は体育及び理科、山内教務主任は社会、古市校務主任は理科など、一部の学年で教科担任制を積極的に取り入れ、学びの充実を図っています。また、担任外の教員が授業を受け持つことで、担任が教材研究・教材準備をする時間を確保することができ、「分かりやすい授業」の展開につながっています。</p> <p>今後も、子どもたちにとって分かりやすい授業となるよう、さらに指導体制を整えるとともに、各教員は指導力の向上に努めていきたいと考えています。</p>				
アンケート4 生活について				
評価指標			平均点	判定
⑦	教職員	子どもにとって「楽しい学校」となるように、指導を工夫した。	3. 6 (3.5)	◎ (◎)
	保護者	子どもは「学校へ行くのが楽しい」と言っている。	3. 5 (3.5)	◎ (◎)
	児童	学校は楽しい。	3. 6 (3.6)	◎ (◎)
<p>➡ アンケートの結果から、ここ数年にわたって「学校は楽しい」と感じている児童が大変多くいることが分かります。（「とても楽しい」307人「まあまあ楽しい」95人、合計が全児童の91%を占める）</p> <p>保護者や地域の方々の協力を得ながら、学校として子どもたちに「豊かな学び」を提供できていることの表れと捉えています。今後も、このような結果が得られるよう、努めていきます。</p>				
		 <p>【「ミラとびランド2021」でヘアメイク体験をする様子】</p>		
⑧	教職員	子どもが、様々な場面で進んで挨拶することができるよう指導した。	3. 2	◎
	保護者	子どもは、様々な場面で、進んで挨拶をしている。	3. 3	◎
	児童	わたしは、様々な場面で、進んであいさつしている。	3. 1	○
<p>➡ 今年度から、評価指標に「様々な場面で」という文言を追加しました。挨拶は「おはようございます」「さようなら」だけではなく、その場面や状況に合わせて、気持ちのよい挨拶ができるようになってほしいという願いを込めています。</p> <p>児童アンケートの結果は昨年度の◎（3.3）から○（3.1）に低下したことから、子どもたちには少々ハードルが高かったようです。学校や地域に、子どもたちのさわやかな挨拶の音が響くよう、来年度も継続して指導していきたいと考えています。</p>				

⑨	教職員	子どもが、よりよく生活するために、様々な場面で適切に判断できるように指導した。	3. 4 (3.5)	◎ (◎)
	保護者	子どもが、よりよく生活できるよう、様々な場面で適切に判断できるよう、指導している。	3. 2 (3.3)	◎ (◎)
	児童	わたしは、よりよく生活できるように、考えながら行動した。	3. 2 (3.3)	◎ (◎)
	<p>➡ 昨年度、「矢田小のやくそく」を大幅に見直しました。時や場面に応じて、「よりよく生活するためには、自分はどうすればよいのか」を考えられるようになってほしいという願いが込められています。約束の数が減るということは、各自の責任ある行動が求められるようになります。一人ひとりが「みんなが気持ちよく生活できるようにするためにはどうしたらいいのか?」「安全に生活するためにはどうしたらよいのか?」について、継続して意識していくことができるように、今後も働き掛けていきます。</p>			

アンケート5 健康・安全について

評価指標		平均点	判定	
⑩	教職員	安全に関わる指導（交通安全・防犯・防災など）を適切に行った。	3. 3 (3.5)	◎ (◎)
	保護者	学校は、安全に関わる指導（交通安全・防犯・防災など）を適切に行っている。	3. 4 (3.4)	◎ (◎)
	児童	わたしは、安全に関わる行事（交通安全・防犯・防災など）に真剣に取り組んだ。	3. 6 (3.7)	◎ (◎)
	<p>➡ 学校では「万が一」に備え、「想定外」ということがないように、様々な場面を想定して各種訓練を行っています。「命を守る大切な取り組み」として、真剣に取り組む教職員の意識の高さが子供にも伝わり、充実した訓練が行われています。その結果、児童アンケートは(3.6 ◎)という高い結果を得ることができていました。来年度も、この結果を維持することができるよう、緊張感を忘れずに訓練を実施していきたいと考えています。</p> <p>不審者の対応については学校でも指導しているところですが、「つみきおに」を意識して行動できるよう、ご家庭でも話題にさせていただきたいと思います。</p>			
				
		<p>【避難訓練に取り組む職員と児童の様子】</p>		
⑪	教職員	子どもの心身に異常があった場合、連絡や処置を適切に行った。	3. 5 (3.6)	◎ (◎)
	保護者	学校は、子どもの心身に異常があった場合、連絡や処置を適切に行っている。	3. 4 (3.4)	◎ (◎)
	<p>➡ 今年度も、学校での出来事やお子さんの様子について、電話を掛けたり、時には家庭訪問をしたりして、迅速かつ密に保護者のみなさまと連絡を取り、共通理解を図るよう心掛けてきました。保護者のみなさまには、学校からの連絡に対して快く対応していただき感謝しています。今後も、児童の望ましい成長を願い、保護者のみなさまのご協力をいただきながら指導にあたりたいと思います。</p>			
⑫	教職員	「新型コロナウイルス感染症の感染予防」についての指導を適切に行った。	3. 4 (3.4)	◎
	保護者	学校は、「新型コロナウイルス感染症の感染予防」についての指導を適切に行っている。	3. 5 (3.4)	◎
	児童	わたしは、「新型コロナウイルス感染症」の予防を心掛けて生活することができた。	3. 7 (3.6)	◎

➡ 今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置適用」が発出され、学校生活にも大きな影響がありました。新型コロナウイルス感染症の影響下での生活が長くなり、感染予防の意識も薄まりがちなか中、子どもたちには、折に触れて「手洗い」「換気」の重要性を訴えてきました。
 保護者の皆様には、「新しい生活様式」を意識していただき、子どもの安全・健康を守るために、登校前の検温、マスクの準備など、様々な場面でご協力をいただきました。ありがとうございました。
 令和4年度は、感染が終息し、マスクのないかつての日常に戻ることを祈りたいと思います。

アンケート6 運営について

評価指標		平均点	判定
⑬	教職員	子どもの悩みやトラブルに適切に対応した。	3.4 (3.4) ◎
	保護者	学校は、子どもの悩みやトラブルに適切に対応している。	3.2 (3.2) ◎
	児童	先生は悩みやトラブルがあったときは、真剣に話を聞いてくれた。	3.6 (3.7) ◎
➡ 「安心して相談できる存在」「いつも見守ってくれている存在」として、全ての児童が安心して教師と関わる時間を確保するため、本校では「教育相談週間」を継続して実施しています。児童からは「先生とじっくり話せてよかった。」という声が聞かれました。 加えて、今年度より、4年生を対象に、スクールカウンセラーによる面談も始めました。「安心して相談できる大人が増えてうれしい。」という感想がありました。児童の思いや考えを知る大切な機会と捉え、今後も継続していきたいと考えています。			
⑭	教職員	施設や設備を子どもの学習環境として適切に整えた。	3.4 (3.4) ◎
	保護者	学校は、施設や設備を子どもの学習環境として適切に整えている。	3.4 (3.3) ◎
➡ 今年度は、児童に安全・安心でおいしい給食を提供することができるように、調理場の釜や揚げ物機の更新を行いました。また、校舎の老朽化による雨漏りや壁のひび割れについて、痛みが激しいところを中心に修繕を行いました。 次年度からは体育館棟の、再来年度からは西校舎のリニューアル改修が行われます。体育館棟のリニューアル改修期間は、令和4年夏季休業中～令和5年2月末までを予定しています。改修期間中は、体育館の使用が制限されたり、運動場が一部使えなくなったりと、ご不便をお掛けしますが、よりよい教育環境の整備のためにご理解ください。			
⑮	教職員	学校の運営方針や子どもの活動の様子などを、家庭や地域に分かりやすく伝えた。	3.1 (3.0) ○
	保護者	学校は、学校の運営方針や子どもの活動の様子などを、家庭や地域に分かりやすく伝えている。(学校だより・ホームページ・ZOOMによる発信など)	3.4 (3.3) ◎
➡ 今年度は、有志の保護者によるご協力により、学校ホームページの内容を大きくリニューアルすることができました。モデル事業に関する情報は、市内の教員向け公開授業が実施される度に更新し、子どもたちが生き生きと学ぶ様子を伝えることができました。 また、「学校だより」「給食だより」「保健だより」「給食の献立」については、すべてアップロードしています。いつでもスマートフォンなどから確認することができます。 さらに、「学習用タブレット」のアイコンを設定しました。オンライン学習サポートなどを実施する際に困りごとがあった場合、ホームページのマニュアルを見ながら対応することができるようになったことで、トラブルのスムーズな解消につながりました。 今後も保護者にとって有益な情報を発信できるように努めてまいります。			

学校関係者評価委員会が開かれました

学校関係者評価は、学校評価の客観性や透明性を高めるために、「自己評価（教職員）・保護者アンケート・児童アンケートの結果」をもとに、本年度の取り組みについて学校外部の方々に評価をしていただくもので、本校では学校評議員とPTA会長・PTA副会長（学校代表）のみなさまに委員をお願いしています。今年度は紙面を通しての開催としました。いただいた意見の一部を紹介させていただきます。



アンケート1 年度目標「個別最適化された学びを提供する授業改善の推進 モデル実践校」としての取り組みについて

- 大人になると、「一人では解決できないような問題」ばかりで、「チームを組んで段取りをしたり、目標を設定したりして解決していくこと」が多いです。そのような経験を、わくわく学習を通して、子どものうちから積み重ねることができているのは、本当に貴重な機会となっていると思います。

アンケート2 年度目標「子どもライフキャリアサポートモデル事業 モデル校」としての取り組みについて

- 自分の長所を見つけ出すことは、とても大切だと思いますので、今後も継続してほしい取り組みです。「あったか言葉」は学校の指導だけでは、なかなか難しいところがあると思うので、ご家庭でも「あったか言葉」を使うことを心掛けていただくとよいのではないかと思います。

アンケート3 学習について

- 保護者の判定が昨年度より上昇していることは、先生の努力の成果だと思います。一部の教科で、教科担任制が行われているということですが、中学や高校に比べ教員数が限られている小学校で、先生の負担は増えていないか心配です。

アンケート4 生活について

- 多くの子どもたちが「学校は楽しい」と感じていることはすばらしいと思います。今後も、子どもたちが登校を楽しみする学校であり続けることを望んでいます。

アンケート5 健康・安全について

- 教職員、保護者、児童のそれぞれが、健康や安全について強く意識していることが分かります。コロナ禍の中、とても大切なことだと思います。これからも、この意識が続くとよいと思います。

アンケート6 運営について

- 子どもたちにとって「いつも大人が見守ってくれていること」を感じられることによる安心感は、とても大切だと思います。今後も続けてほしいです。
- ホームページが充実し、特にオンライン学習サポートに関するマニュアルをアップしているのは効率的でよいと思います。

その他

- 最近の新聞報道を見ましても、人手不足の中、先生たちがいかに頑張っておられるのか、無理をされていないかと心配しております。不十分な条件の中で、努力されていることが伝わってきます。心から感謝しております。 など

これらの意見も、来年度の矢田小学校の教育活動に生かしていきます。